

3 月定例会 (3月2日~12日)

審議結果

- 多古町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について…………… 可決【賛成全員】
 - 町道路線の廃止について…………… 可決【賛成全員】
 - 町道路線の認定について…………… 可決【賛成全員】
 - 多古町道路整備基金条例の制定について…………… 可決【賛成全員】
 - 多古町公園の設置及び管理に関する条例の制定について…………… 可決【賛成全員】
 - 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について…………… 可決【賛成全員】
 - 職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について…………… 可決【賛成全員】
 - 千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について…………… 可決【賛成全員】
 - 香取郡二町介護認定審査会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について…………… 可決【賛成全員】
 - 多古町農村交流センターの指定管理者の指定について…………… 可決【賛成全員】
 - 平成21年度多古町一般会計補正予算(第5号)について…………… 可決【賛成全員】
 - 平成21年度多古町学校給食センター事業特別会計補正予算(第2号)について…………… 可決【賛成全員】
 - 平成21年度多古町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について…………… 可決【賛成全員】
 - 平成21年度多古町老人保健特別会計補正予算(第2号)について…………… 可決【賛成全員】
 - 平成21年度多古町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について…………… 可決【賛成全員】
 - 平成21年度多古町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について…………… 可決【賛成全員】
 - 平成21年度多古町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について…………… 可決【賛成全員】
 - 平成21年度国保多古中央病院事業会計補正予算(第2号)について…………… 可決【賛成全員】
 - 平成21年度多古町水道事業会計補正予算(第2号)について…………… 可決【賛成全員】
- ※平成22年度予算案については、3ページへ掲載しました。

第2回 臨時議会 (3月18日)

※平成22年度予算案のみ審議したため、3ページへ掲載しました。

第3回 臨時議会 (5月11日)

- 専決処分の承認を求めることについて(町税条例の一部改正)…………… 承認【賛成全員】
- 専決処分の承認を求めることについて(町国民健康保険税条例の一部改正)…………… 承認【賛成全員】
- 固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて…………… 同意【賛成全員】
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて…………… 適任【賛成全員】
市原 實氏(多古町多古)
- 多古町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例の制定について…………… 可決【賛成多数】
- 千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について…………… 可決【賛成全員】

反対



反対討論・広瀬弘二議員
計画に沿ってすすめてきた滞在型市民農園の予算を削除することに反対です

修正案に反対する立場から討論します。私は原案に対しては不満な面もありましたが、全体的には納得して賛成しました。
滞在型市民農園については私は3年前から作るべきだという意見を一般質問で述べてきました。今回の定例会でこれに関連する予算計上について反対意見が出たからといって、2千万円もの予算を一挙に0にする修正案に賛成するわけには

きません。
平成20年度には数百万円の予算で滞在型市民農園のあり方について調査をしています。平成21年度は1千万円弱の予算がありましたが、国との調整が遅れたことから全額を繰越明許(その年度内に支払いができないものについて翌年度に繰り越して使用できるようにする)という補正予算を議決しています。こういう流れの中で推移してきたものを今回反対意見が出たからといって、いきなり滞在型市民農園を否定するようなやり方は理解できません。
滞在型市民農園はやるべきだ、やってほしいと言いつつ、続けてきた私はこのような形の修正案には反対せざるを得ません。

平成22年新年度予算討論 第2回臨時議会 (3月18日)



賛成討論・椎名義光議員
大きな視点からみて予算の否決は住民の利益に繋がらない

私の立場は、定例会での考え方と同じで、反対の気持ちを持っておりません。しかし、定例会で予算が否決されたということで、これは一部の住民の中からも不安が寄せられており、予算の否決という事態は避けなくてはならないことだという考えを前提としたと思っています。
本来であれば、町長の側から一部を修正して定例会の中で対応することも出来たと思っております。また、議会としても予算を否決してしまったということに未熟さというものを感じております。やはり議会本来の役割を充分果たしきれなかった。これは、議会の規則に従って修正案を出して、修正可決をすべきであった訳であります。

賛成

町長は予算編成権を持っておりません。予算を編成し、議会の議決を得るところまでが町長の責任であるというように思います。ところが、議会に対しての十分な説明や話し合いが欠けていたと思います。
したがって、予算の否決は住民の利益には繋がらないということ、大きな視点からみれば予算案は可決すべきと考えます。

平成22年度各会計予算の状況 (前年との比較)

区分	平成22年度	平成21年度	比較増減	増減率(%)	
一般会計	57億2,375万円	54億7,746万円	2億4,629万円	4.5	
特別会計	学校給食センター	1億8,751万円	2億11万円	△1,260万円	△6.3
	国民健康保険	20億6,508万円	19億8,145万円	8,363万円	4.2
	老人保健	33万円	515万円	△482万円	△93.6
	農業集落排水	1億3,402万円	1億4,869万円	△1,467万円	△9.9
	介護保険	11億3,858万円	10億6,039万円	7,819万円	7.4
	後期高齢者医療	1億4,946万円	1億3,689万円	1,257万円	9.2
国保多古中央病院事業会計	18億9,470万円	18億7,956万円	1,514万円	0.8	
水道事業会計	3億2,739万円	3億3,119万円	△380万円	△1.1	

(千円以下は四捨五入)